

園芸学部100年、節目の年に

千葉大学 園芸学部別科花卉専攻 2年

日野綾子



フィールドセンターにて
播種をする別科花組

今年は、千葉大学園芸学部創立100周年です。その1年を追ってみました。

2009年2月 2年生専攻特別研修報告発表会

一人ひとりが、この1年の研究を論文にまとめ、発表します。いつのまに、こんな

研究をされていたのでしょうか。そういえば、実習後一人残って計測していた先輩、夏休みも毎日ハウスに来ていた先輩、研究の鉢花を戸定祭の販売に出された先輩がいました。私たちにできるのだろうか……。身の引き締まる思い。先輩たちがひととき大きく見えた1日でした。

2009年2月 卒業を祝う歓送会

プレゼントや寄せ書きを用意。先輩方から次の組長・副組長の指名を受けます。生協食堂での一次会、場所を移した2次会へ宴は盛り上がり、たくさんの思い出や先生方・仲間への感謝の言葉が続きます。それぞれの道へ、先輩たちは旅立ちます。1年間、ありがとうございました。

2009年 春休み

学部花卉研の皆さんがローテーションに入ってくださり……残った3人で毎日の灌水当番は大変過ぎる……感謝です。OGの方が、ハウス管理にも加わり、みるみるきれいになっていく1号・2号・1000属ハウス。なんとか春休みを乗り切りました。専攻特別研修テーマも決まり、計画書も提出。「なんでもいい、必ずノートにメモを取るように、それが後できっと役に立つ」。研究生の方からのアドバイスを胸に、もたもたと、でも楽しく研究を進めます。

2009年4月 新入生来る

6人の新入生を迎え、総勢11人となった別科花組。歓迎会での初々しい挨拶がまぶしい。早いものだな。2年生の授業は別科のものはほとんどなくなり、学部生に混じって講義を受けます。単位取得に向けてがんばらないと。

2009年5月 母の日の出荷

実習では「鉢花の出荷」も行ないます。一番忙しいのが「母の

日」。挿し芽、鉢上げ、ピンチ、矮化剤処理と、一連の実習を経てこの日を迎えます。お客様が箱を開けたときの笑顔を想像しながら、丁寧に最後の調整を行ないます。まさか、大学でダンボールの組立てするなんて思わなかった……。

2009年6月 戸定祭準備開始

大学祭・戸定祭で、別科花組は花卉やわた飴の販売、1000属ハウスの公開などを行ないます。今年は、少人数で販売に集中！6月中に販売するパンジーやビオラなどの品種を決め、種子を注文。11月から春まで開花する、いろいろな品種を選定します。

2009年7月 前期テスト中の実習、パンジー播種

販売品種の種子を自分達で播きます。自動播種ラインを持つ千葉大ですが、今回は勉強の為にセルトレーへ手播きです。温度・湿度の管理された発芽室で一斉に発芽したらハウスへ。

2009年9月 夏休み、パンジーのポット上げ

本葉3～4枚に育った苗を、3号ポットに仮植える実習。手植えのほか、土作りから全自動の移植ラインも稼働します。今年は3800ポットを用意。戸定祭が楽しみです。



パンジーのポット上げに
精を出すメンバー

2009年10月29日 100周年記念式典

2009年10月31日～11月2日 戸定祭

私たちが植えた、ペチュニア‘さくらさくら’の樽が、松戸キャンパスを盛大に飾る予定です。

偶然にも、伝統ある千葉大学園芸学部の創立100周年の記念の年に居合わせた私たち。この「花葉」が発行される12月には、



自動化移植ラインで
補植をするメンバー

春の花苗や鉢花の生産実習、卒業研究のまとめに忙しいことでしょう。来年は千葉国体にも、花苗を提供します。わずか2年間ですが、ここ別科花組で学ぶこと、経験することは盛りだくさんです。